

アプリ活用し出前支援

佐野市、ソフト会社と提携

負けない
新型コロナ

イシス（東京都豊島区）と結んだ。このアプリは飲食店と購入者、配達者をネット
で結ぶ「JOY弁」で、同社が都内以外の自治体と提携するのは初めてという。田野
宏一社長（32）は「佐野のテークアウト事業をさらに充実させたい」と意気込みを語
った。

【佐野】新型コロナウイルス感染症拡大に伴う飲食店
支援としてテークアウト推進事業を進める市は19日、
スマートフォンアプリを活用したデリバリーサービ
スを普及させるための事業提携をソフト開発の「オフ

（柴田正人）

同社によると、JOY弁
は今年8月に開発。消費者
同士が別の目的で移動する
ついでに物を届け合うデリ
バリーモデル「ソーシャル
デリバリー」に注目し、購
入者のほか商品を店舗で受
け取って配達する人にもポ
イントを付与する。ポイン
トは次回注文時の支払いに
充当できるという。

同社はこれまで、都内の
大手不動産会社などと連携
し地域活性化に取り組んで
きたが、市が今年5月から

「テークアウトプロジェクト」を展開しているのを知り、事業提携を申し入れた。同社は今後、市が10月に作成した「さのまるテークアウトマップ」に掲載された100店余りの飲食店を中心に導入を呼び掛ける。

田野社長は「新型コロナウイルス対策緊急措置により、当面は手数料を無料で提供したい」としている。

同社と事業提携を締結した岡部正英市長は「商店街の活気を取り戻すきっかけになるよう期待している」と話した。



事業提携を結んだ岡部市長（左）と田野社長

100店余に導入呼び掛け